



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 ゼビオホールディングス株式会社  
コード番号 8281 URL <http://www.xebio.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 諸橋 友良  
問合せ先責任者 (役職名) グループ財務担当執行役員 (氏名) 中村 和彦

TEL 03-6870-6008

四半期報告書提出予定日 2020年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	40,856	32.8	469		502		477	
2020年3月期第1四半期	60,796	0.9	3,775	16.3	3,865	21.7	1,498	48.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 569百万円 ( %) 2020年3月期第1四半期 1,692百万円 ( 38.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第1四半期	10.79	
2020年3月期第1四半期	33.90	33.82

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年3月期第1四半期	210,174	115,962	54.9	2,612.19
2020年3月期	182,921	117,251	63.8	2,640.13

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 115,488百万円 2020年3月期 116,724百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		17.50		15.00	32.50
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点で合理的な連結業績予想の算定が困難なことから、未定としております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症による当社グループに与える影響を合理的に算定することが困難であるため、未定としております。今後、連結業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	47,911,023 株	2020年3月期	47,911,023 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	3,699,657 株	2020年3月期	3,699,427 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	44,211,436 株	2020年3月期1Q	44,211,906 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症による当社グループに与える影響を合理的に算定することが困難であるため、未定としております。今後、連結業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に対する緊急事態宣言の発出を受けた店舗や事業所に対する休業要請や外出自粛の強まりを背景に個人消費は大きく落ち込み、景気は急降下しました。また、世界的な需要減少の煽りを受け、製造業からサービス業、或いは大企業から中小企業に至るまで、多くの企業の業績が急速に悪化し、先行き不透明感が強くなっています。新型コロナウイルス感染症は、一時、収束の兆しを見せておりましたが、足元では感染者数が再度急速に拡大していることから、経済活動の正常化の時期は見通せず、企業業績へのマイナス影響と新生活様式の定着による個人消費への大きな変化が起こることが必至であると想定されています。

スポーツ用品販売業界におきましては、全国高等学校体育連盟によるインターハイ中止、プロスポーツにおける無観客、或いは観客動員数を制限した形での開催など、観客とプレーが一体となったスポーツシーンが見かけられなくなりました。また、休校とともに部活動が停止した地域が多く、当第1四半期に発生すると見込まれた部活生需要が大きく後ろ倒し、或いは消失しました。一方で、コロナ禍での新生活様式における心身ともに健康なライフスタイルを構築するためには、スポーツやレジャー活動の重要性が改めて注目されています。

競合環境につきましても、衣料品における周辺領域との垣根の低下と価格競争の激化、メーカー直販ECサイトの拡大傾向は持続しており、需要が細る中で激しさが増しております。

コロナ禍における新生活様式の影響としましては、3密を回避する消費行動からの都市部ビル型店舗や大型ショッピングセンターを避ける動きやインバウンド需要の大幅な消失、及びテレワークの拡大により、都心店舗から郊外店舗へ購買需要の変化が進行するドーナツ化現象が起きています。

この様な状況のなか、当社グループは、スポーツ関連用品は新生活様式に必要な不可欠なアイテムであり、お客様のライフラインの一環であるとの認識のもと、店舗や本社における感染拡大防止策を講じた上で、社員やお取引先様のご協力をいただきながら、事業の継続性を担保できる体制での事業運営に努めて参りました。店頭では、感染症予防商品の拡充などを推進しながら、市場の変化に対応した商品構成への変更、EC売上獲得に向けての人員体制のシフトコントロールを行いました。店舗休業と3密回避の影響を受けて、大幅な減収となりました。一方で、販売価格の適正化による売上総利益率の改善とともに、広告宣伝費や人件費、及び店舗費の削減を進めました。

新規出店及び閉店につきましては、継続して不採算店舗のスクラップ&ビルドを推進しております。当第1四半期では国内で5店舗を出店し8店舗を閉店しました。

これらにより、当第1四半期末におけるグループの総店舗数は857店舗となり、グループ合計の売場面積は前連結会計年度末に比べて275坪減少して196,644坪となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高408億56百万円（前年同期比32.8%減）、営業損失4億69百万円（前年同期は営業利益37億75百万円）、経常損失5億2百万円（前年同期は経常利益38億65百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失4億77百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益14億98百万円）となりました。

## 〔主な商品部門別の営業概況〕

当第1四半期期間では新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の影響を受け客数が大幅に減少し、全ての商品部門での販売が低調に推移しました。

## ＜ゴルフ用品・用具部門＞

ゴルフ用品・用具は、ゴルフが3密になりにくいスポーツということもあり、緊急事態宣言解除後は比較的堅調に回復いたしました。ゴルフ用品・用具部門の売上高は、前年同期比23.4%の減少となりました。

## ＜一般競技スポーツ・シューズ・スポーツアパレル部門＞

一般競技スポーツ・シューズ・スポーツアパレル部門では、春の新生活需要、部活動需要が外出自粛により大幅に縮小いたしました。一般競技スポーツ・シューズ部門の売上高は、前年同期比41.9%の減少、スポーツアパレル部門の売上高は、前年同期比29.7%の減少となりました。

## ＜アウトドア・その他部門＞

アウトドア・その他部門では、感染症予防商品、運動不足解消商品等は好調に推移いたしました。富士山の夏期の閉山が発表されたことの影響などもあり、トレッキングが伸び悩みました。以上の結果、アウトドア・その他部門の売上高は、前年同期比32.6%の減少となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、休業店舗から営業店舗への在庫移動など在庫コントロールにより商品が減少しました。また、銀行からの運転資金借入により現金及び預金が増加いたしました。以上の結果、前連結会計年度末に比べ272億53百万円増加し2,101億74百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、販売状況に対応した仕入抑制を行ったことから支払手形及び買掛金、電子記録債務が減少したものの、銀行借入により短期借入金が増加いたしました。以上の結果、前連結会計年度末に比べ285億41百万円増加し942億11百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ12億88百万円減少し1,159億62百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの影響の終息時期や、景気回復動向が不透明であるなど、不確定要素が多く合理的な予測をすることが困難であるため、現時点では業績と配当予想は未定とし、開示が可能となった時点で速やかに公表することとさせていただきます。

〔新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報〕

新型コロナウイルス感染症の拡大の推移によっては、休校・外出自粛やソーシャルディスタンスの実行によるスポーツ用品需要の変化や減少、及び店舗の休業や営業時間短縮に起因した来店客数の減少が発生することが考えられます。この場合は当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	12,493	43,346
受取手形及び売掛金	19,654	21,543
営業貸付金	1,508	1,369
商品	75,343	69,222
未収還付法人税等	470	629
その他	9,340	10,003
貸倒引当金	△413	△383
流動資産合計	118,397	145,731
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	48,694	48,722
減価償却累計額	△33,970	△34,034
建物及び構築物(純額)	14,723	14,687
土地	15,426	15,426
リース資産	2,345	2,686
減価償却累計額	△887	△913
リース資産(純額)	1,457	1,773
建設仮勘定	93	153
その他	19,849	19,848
減価償却累計額	△17,235	△17,296
その他(純額)	2,614	2,552
有形固定資産合計	34,316	34,593
<b>無形固定資産</b>		
のれん	2,703	2,537
ソフトウェア	1,036	985
その他	1,295	1,166
無形固定資産合計	5,035	4,689
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	784	807
長期貸付金	51	48
繰延税金資産	4,925	5,317
差入保証金	2,499	2,398
敷金	14,278	14,063
投資不動産	2,969	2,969
減価償却累計額	△1,239	△1,244
投資不動産(純額)	1,730	1,725
退職給付に係る資産	11	6
その他	1,212	1,144
貸倒引当金	△320	△350
投資その他の資産合計	25,172	25,160
固定資産合計	64,524	64,443
資産合計	182,921	210,174

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,865	10,443
電子記録債務	24,375	16,096
短期借入金	414	40,400
1年内返済予定の長期借入金	—	56
未払法人税等	1,216	563
賞与引当金	801	643
役員賞与引当金	15	15
ポイント引当金	1,448	1,361
その他	11,843	13,900
流動負債合計	54,980	83,480
固定負債		
長期借入金	1,844	1,798
リース債務	2,483	2,541
退職給付に係る負債	856	859
役員退職慰労引当金	59	59
資産除去債務	4,468	4,406
その他	976	1,065
固定負債合計	10,689	10,731
負債合計	65,670	94,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,935	15,935
資本剰余金	16,120	16,119
利益剰余金	91,226	90,085
自己株式	△6,498	△6,498
株主資本合計	116,784	115,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8	8
為替換算調整勘定	662	529
退職給付に係る調整累計額	△713	△691
その他の包括利益累計額合計	△60	△153
新株予約権	491	436
非支配株主持分	35	37
純資産合計	117,251	115,962
負債純資産合計	182,921	210,174

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	60,796	40,856
売上原価	35,953	23,869
売上総利益	24,842	16,987
販売費及び一般管理費	21,067	17,456
営業利益又は営業損失(△)	3,775	△469
営業外収益		
受取利息	9	10
受取配当金	7	5
不動産賃貸料	239	167
業務受託料	80	61
その他	180	210
営業外収益合計	517	455
営業外費用		
支払利息	8	44
為替差損	104	244
不動産賃貸費用	199	138
業務受託費用	72	49
その他	42	13
営業外費用合計	427	489
経常利益又は経常損失(△)	3,865	△502
特別利益		
新株予約権戻入益	—	61
特別利益合計	—	61
特別損失		
固定資産除却損	42	23
固定資産売却損	—	1
減損損失	795	1
投資有価証券評価損	44	—
特別損失合計	883	26
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,982	△468
法人税、住民税及び事業税	1,367	377
法人税等調整額	112	△370
法人税等合計	1,480	7
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,502	△475
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,498	△477



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,502	△475
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	17
為替換算調整勘定	195	△132
退職給付に係る調整額	△5	21
その他の包括利益合計	190	△93
四半期包括利益	1,692	△569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,688	△571
非支配株主に係る四半期包括利益	3	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。